

2016年3月25日

長野県内ファミリーマートの取り組み

長野県の東信地区・北信地区の加盟店ら83名が「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

【実施日】2016年3月10日（木）

【会場】長野市生涯学習センター

(株)ファミリーマートは2010年6月、長野県と「連携と協力に関する包括協定」を締結し、以後長野県内における地域の一層の活性化に取り組んでいます。この一環として、2016年3月10日、長野県と連携し「認知症サポーター養成講座」を、講師に長野市職員・長野県警職員でもある「キャラバン・メイト」をお招きし、開催しました。東信地区、北信地区のファミリーマート加盟店店長、ストアスタッフ65名が中心となり受講し、認知症の理解および店舗における対応などについての理解を深めました。超高齢社会においてコンビニエンスストアが果たすべき地域社会での役割として機能を盤石なものとし、ご高齢の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていただけるよう地域社会の一員として役割を果たしていきます。

※「認知症サポーター」とは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者。2005年に厚生労働省が「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として、「認知症サポーターキャラバン」事業を開始し、「認知症サポーター」を全国で養成している。



「認知症サポーター養成講座」参加者

認知症への理解を深め、店舗における対応などを学びました

「認知症サポーター養成講座」では、脳の細胞が壊れることですぐ忘れるなどの記憶障害が起きることや、考えるスピードが遅くなることなどの主な症状について講義を受け、認知症の正しい知識を身につけました。また、認知症の方が来店された時の対応について、相手と目線を合わせてゆっくりと穏やかな口調で話すことや、相手を急かさずに言葉に耳を傾け反応を見ながら会話を進めることの大切さを学び、認知症への理解を深めました。

講座参加者からは、「症状が疑われる人をスタッフ同士把握し、対応にあたりたい」「非常に良い取り組みなので、全国で取り組んでほしい」といった感想が届いています。

ファミリーマートはこの取り組みを通じて、認知症サポーターが在店する店舗を増やし、行政との連携を通じて地域社会に貢献してまいります。

■講師（ご協力いただいたキャラバン・メイトの皆様）

長野市保健福祉部介護保険課 中部地域包括支援センター 高戸谷 千志美様

長野市保健福祉部介護保険課 富岡 羊子様

長野県警察本部生活安全部生活安全企画課 長根 恵史様

【関連サイト】

■認知症サポーターキャラバン

<http://www.caravanmate.com/>

■行政とともに

<http://www.family.co.jp/company/ec/o/stakeholder/municipality.html>

認知症の方との接し方を学びました。



キャラバン・メイトの方の講義を受け、認知症についての理解を深めました。



加盟店の店長、ストアスタッフ、ファミリーマート社員、合計83名が受講しました。